

病院、研究所、オープンイノベーションセンター、 一大医療クラスターを牽引し、新たな治療法へ

さらには地域が一体となった の取り組みを推進

新しい国循で、予防から 最先端の治療・研究まで行います

2019年7月に移転した国循では、病院と研究所そしてオープンイノベーションセンターを一つ屋根の下に集結しています。手術室、カテーテル室ともに増設、手術室においては、外科手術とカテーテル治療を同時に行うことができるハイブリッド手術室を4室設置し、ガンマナイフ、PETなどの最新の機器を整備しています。循環器疾患に対して患者さんの負担を最大限に考慮した低侵襲で安心で質の高い治療を各科が連携したチームにより24時間365日体制で提供しています。研究設備も整っており、日本一の規模となる大動物実験施設もあります。

そして、新しい国循の大きな特徴が、新たに設置したオープンイノベーションセンター(OIC)です。OICでは臨床のニーズと技術シーズの展開により次世代の医療機器、医薬品、ヘルス事業創出に向けて病院、研究所、

大学、企業が一体となって取り組んでいます。

また今回の移転に伴い、JR岸辺駅北側一帯が国循を中心とした「北大阪健康医療都市(健都)」と呼ばれる一大医療クラスター(集積地)となっています。2018年12月にオープンした市立吹田市民病院と共同で高齢化に向けた取り組みを実施しております。国循に隣接するイノベーションパークには企業や国立健康・栄養研究所が立地予定です。高齢者向け住宅や健康を意識した公園やジム、国循が発信する減塩の考え方「かるしお」のコンセプトに沿った食事を提供するレストランもあります。健都に隣接する、大規模マンションの住民に配布するウェアラブルモニターでは、血圧や脈拍などのデータが国循に転送されるなど、健都全体で予防から最先端の治療・研究まで行えます。

外にも内にも、 新しい国循を広げていきます

2018年12月に成立した「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」により、全国規模での患者登録の実施が決定いたしました。国が主導であるため、今までと比べてより多くの症例登録が可能となります。国循は、その中核となって国民の健康増進を目指します。

また循環器疾患の多くは予防が可能であり、適切な予防を行い、元気で活躍できる健康寿命を伸ばすことも大切です。そのため予防に対する先進的な取り組みも引き続き実施していく必要があります。30年以上にわたり実施している「吹田研究」の成果を活用した予防法や介入研究をさらに発展していきます。また国循の栄養・調理スタッフが長年の経験を生かし、循環器病の予防や治療のために作り上げたおいしい減塩レシピの広報そして企業と連携したかるしお認定制度を通して減塩の普及に努めています。

健都全体の連携で、医療の モデル地区を目指します

私は健都を医療のモデル地区にしたいと思います。良好な治療成績を残す必要があり、いち早く診察を受けられるシステムの確立が必要です。そのためには、まず医師会との連携をもっと強固にし、必要な時にすぐに国循に搬送して頂くことで、治療成績の向上を目指し、また治療が終われば開業医の先生に地域の中で診ていただくシステム構築をさらに進めていきます。

地域の先生とは、循環器疾患の予防法の確立でも連携したいと考えています。例えば検診の段階で発症予防の対策を講じる取り組みを考えています。健診データを共有し、必要であれば国循にご紹介頂くフローを確立していきます。

健都は吹田市と摂津市にまたがって位置しているため、吹田研究の対象を摂津市民にも拡大し、より多くの症例を蓄積・解析して新しい研究成果に結び付けるとともに、循環器疾患の予防につなげることを目指しています。

国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

理事長 大津 欣也

Philosophy

理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

Basic Policy

基本方針

- ・循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
- ・透明性と高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
- ・研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
- ・循環器医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
- ・全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。